

船舶事故調査報告書

平成29年5月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成28年8月7日 11時43分ごろ
発生場所	大阪府阪南港第2区 阪南港阪南3区防波堤灯台から真方位208° 1,460m付近 (概位 北緯34°27.0′ 東経135°20.6′)
事故の概要	プレジャーボートブラックパール号は、北東進中、また、水上オートバイ ^{ウルトラ} ULTRA310 ^{エルエックス} LXは、遊走中、両船が衝突した。
事故調査の経過	平成28年9月29日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート ブラックパール号、5トン未満（長さ5.76m） 253-23053大阪、個人所有 B 水上オートバイ ULTRA310LX、0.1トン 240-65425大阪、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、二級小型・特殊 B 船長B、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	A 右舷外板中央部に亀裂及び破口 B 左舷船首部に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東北東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	A船は、船長Aが1人で乗り組み、知人等4人を乗せ、二色浜海水浴場からウェイクボーダーをえい航して北東進中、貝塚大橋を通過して50mほど進んだ所で右に舵を切ったところ、右舷後方を航行していたB船と衝突した。 B船は、船長Bが貝塚市二色の水路を遊走中、A船と衝突した。
分析	A船は、船長Aが、舵を右に取る際、周囲の見張りを適切に行っていなかったことから、右舷後方を航行していたB船に気付かずに右転し、B船と衝突したものと考えられる。 B船は、遊走中、A船と衝突したものと考えられるが、船長Bから情報を得ることができなかつたため、A船と衝突した状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、A船が、ウェイクボーダーをえい航して北東進中、B船が遊走中、両船が衝突したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

	・ 常時適切な見張りを行うこと。
--	------------------